

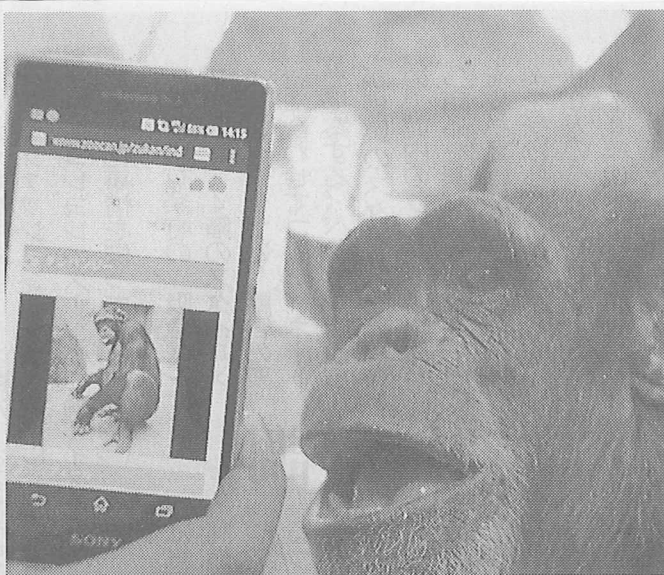
# かざせば 動物博士

わんぱーく

## 「ムササビ投稿を」

### スマホで新サービス

わんぱーくこうちアニマルランド（高知市棧橋通6丁目）は、園内でスマートフォンを使って動物の情報が見られる新しいサービスを始めた。同園で飼育する91種類の動物のうち、ライオンやチンパンジー、ニホ



チンパンジーの前では、エサを食べる動画も見ることができる＝わんぱーくこうちアニマルランド

ンカモシカなど40種類に対応している。

動物舎の前に設置されたNFC（近距離無線通信）タグやQRコードにスマホをかざすと、ウェブ上の「いきもの図鑑」にアクセス。体の大きさやエサなどの基本情報がわかるほか、チンパンジーが木の枝を使って人工蟻塚からジュースを飲む様子や、ミナミコアリクイが立ち上がってダンスしている様子を、動画や画像で楽しむことができる。ただし、NFCの利用には、QRコードと同様、専用アプリのインストールが必要という。

「いきもの図鑑」には、同園を含め、王子動物園（神戸市）、なががわ水遊園（栃木県大田原市）など計5施設が参加。約140種の動物の詳しい情報を知ることができる。

最大の特徴は、来園者が撮影した写真を投稿して図

鑑づくりに参加できる仕掛けだ。アニマルランド学芸員の久川智恵美さん（42）は「ムササビが飛んでいる姿は職員も撮っていない。ぜひ投稿を」。図鑑を運営するNPO法人「ズー・キャ

ン・ドリームプロジェクト」（大阪府田尻町）の福永恭啓代表（27）は「いずれは野生動物や海の生物も取り込んだ巨大図鑑にした」と意気込んでいる。

（広江俊輔）